

第3回

高校生による 岡山の歴史・文化研究フォーラム



「旧関谷学校」

写真提供：河西久男氏

日時 2016年11月13日(日) 9:00~17:20

場所 さん太ホール(山陽新聞社)

■主催:  岡山北西ロータリークラブ (国際ロータリー第2690地区 第9グループ)

■後援: 岡山県・岡山県教育委員会・岡山市教育委員会・山陽新聞・朝日新聞・毎日新聞

NHK・KSB瀬戸内海放送・OHK岡山放送・RNC西日本放送・RSK山陽放送・TSCテレビせとうち
(アルファベット音順)



開催にあたって

岡山北西ロータリークラブ

会長 岡本和夫

今年で3回目となります「高校生による岡山の歴史・文化研究フォーラム」が盛大に開催されますことは、私ども岡山北西ロータリークラブの会員はもとより、関係者の皆さんにとりまして大変な喜びであり、今日の日を心待ちにしていました。

過去2回はいずれもわが郷土の産業・文化に関する数多くの興味深い発表があり、有意義な一日を過ごすことができました。少子高齢化・地方創生が叫ばれる今、若い方々が郷土岡山の歴史・文化に興味や愛着をもち、教科書では知り得ない地元の歴史にふれ、高校生の視点に立った研究の成果を発表することがこの研究フォーラムの目的・意義であります。

「地域でよいことをしよう」のスローガンのもと、地区補助金を活用した岡山北西ロータリークラブ独自の事業であります。ふり返りますとこの3年の間に縦のつながりはもちろんのこと、横のつながりもでき有意義な事業となっています。ロータリーの五大奉仕の一つ、青少年奉仕の実践にクラブ一丸となって取り組み、準備を進めてまいりました。生徒の皆さんには、短時日のうちに実地に調査・研究してこられた成果を十二分に発表に活かしていただいて、達成感を抱くとともに、ご来場の皆さんに新たな感動を与えてほしいと願っています。

基調講演をしていただく國友道一先生をはじめ、審査にあたっていただく諸先生のみなさまにはこの場を借りて御礼申し上げます。

審査員 (敬称略)

國友 道一 氏	(公益財団法人特別史跡旧閑谷学校顕彰保存会 事務局長)
秋政 孝一 氏	(株式会社山陽放送サービス 代表取締役社長)
岡部 知史 氏	(テレビせとうち シニアマネージャー)
江見 肇 氏	(山陽新聞社 局次長)
平松 信 会員	(岡山北西RC)

以上 5名

スケジュールのご案内

開 会

開会挨拶

岡山北西ロータリークラブ会長 岡本 和夫

ロータリーについて

ロータリー財団委員長 西山隆三郎

◆ 基調講演 ◆

「閑谷学校の歴史・文化に学ぶ」

公益財団法人 特別史跡旧閑谷学校顕彰保存会 事務局長 國友 道一 氏

◆ 歴史研究発表 ◆

1.自分たちがつくる歴史 『THE HISTORY OF OKAYAMA WITH SRILANKA』

岡山理科大学附属中学校・高等学校 数学部①班

2.大原孫三郎の偉業に迫る!!

岡山龍谷高等学校 岡山龍谷Bチーム

3.『岡山城に行ってQ』

岡山県立瀬戸南高等学校 生活デザイン科有志

4.奈義町の歴史について

岡山理科大学附属中学校 科学部

5.表町商店街と歩む東商デパート

岡山県立岡山東商業高等学校 東商デパート取締役

昼食休憩 ～40分～ ※20階レストランには、会員がご案内致します。

6.鴨方奇岩伝説 生石のう様

おかやま山陽高等学校 ディベート同好会

7.干拓の進化

岡山龍谷高等学校 普通科特別しんどいコース 地元探検隊

8.閑谷学校ボランティアガイド

岡山県立和気閑谷高等学校 生徒会

9.未知なる蘭学への挑戦

岡山県作陽高等学校 スーパー特進コース2学年

10.「Made in Kojima School Costume」岡山龍谷高等学校 龍谷ガールズ&ア・ボーイ

休憩時間 ～10分～

11.東洋一の柵原鉱山

岡山理科大学附属高等学校 「4B」

12.AMDAと国際交流について

岡山県立矢掛高等学校 吉岡先生と愉快的仲間たち

13.岡山発祥!! 点字ブロックの発展

岡山学芸館高等学校 学芸館英語科 team H&M

14.岡山の算額紹介

岡山理科大学附属中学校・高等学校 数学部②班

15.岡山デニム兄弟・児島と井原

岡山龍谷高等学校 岡山龍谷Aチーム

審査休憩 ～20分～

審査発表&表彰

フォーラム実行委員長 末吉 賢多

講 評

審査員全員

閉会挨拶

岡山北西ロータリークラブ副会長 竹本千代子

★参加高校生・指導者・ロータリークラブ会員全員による写真撮影★

○ 基 調 講 演 ○



演 題 「閑谷学校の歴史・文化に学ぶ」

公益財団法人 特別史跡旧閑谷学校顕彰保存会

事務局長 國友 道一 氏

講演内容の要旨

歴史は、その時代を生きた生活者たちの物語です。彼らは試行錯誤しながら時代を切り拓いて行きました。その歴史・文化を学ぶことによって、自分がこれからどう生きて行けばよいか、その手がかりを得ることができます。

また、身近な岡山（地域）の歴史・文化を学ぶことは、併せて、地域に愛着や誇りをもつことにつながり、地域の伝統文化を継承してすばらしい地域づくりをすすめる原動力にもなります。

閑谷学校は、日本最古の庶民のための公立学校であると言われていています。この学校を創建した池田光政公は、多感な時期に姫路藩、鳥取藩、岡山藩と三度の転封を経験しており、藩主としての使命と責任を強く感じざるを得なかったようです。さらに、岡山藩主になってからは、近江聖人と呼ばれていた中江藤樹や熊沢蕃山との出会いがあり、学問による道徳的な人間形成こそがよい社会を実現することにつながるという思いに至りました。閑谷学校は、このような理念に基づいて創建されました。光政公は、身分に関係なく誰でも学べる学校を創建するという夢を実現したものの、岡山藩の財政は非常に厳しく、学校を維持運営するには多くの苦勞が伴いました。明治時代になって閑谷学校は再興されましたが、私立の学校であったため存続のための苦勞は続きます。しかし、閑谷学校は様々な困難を乗り越えて現在まで歴史を刻み続けています。それは、池田光政公のすべての人に教育をとという創学の精神が、多くの人に訴えかけ、人を動かしたからだと思います。今日はその歴史をたどってみたいと思います。

今年の5月、倉敷市でG7教育大臣会合が開催されました。それに先だって公開シンポジウムがあり、そのテーマが「教育の力」でした。現在世界には向き合うべき多くの地球規模の課題があります。教育の力で人を、世界を、未来を変えようと様々な意見が出されました。池田光政公が、今から300年以上前に閑谷学校を創建したのも、まさに「教育の力」を信じたからではないでしょうか。

講師紹介 ○経歴

昭和24年岡山県生まれ

岡山大学卒業後、岡山県内の公立高等学校の英語教師を務める

昭和61年 4月 岡山県教育センター指導主事

平成 4年 4月 岡山操山高等学校教諭

平成12年 4月 岡山県立津山高等学校教頭

平成14年 4月 岡山県立備前東高等学校校長

平成15年 4月 岡山県立和気閑谷高等学校校長

平成18年 4月 岡山県立岡山操山高等学校校長

平成21年 4月 岡山県高等学校長協会会長

平成21年11月 教育者文部科学大臣表彰受賞

平成22年 3月 公立高等学校退職

平成22年4月から 公益財団法人特別史跡旧閑谷学校顕彰保存会事務局長

岡山県青少年教育センター閑谷学校長所長（～平成28年3月）

第6期（平成23年～25年）中央教育審議会スポーツ・青少年部会委員